

ボランティア清掃用ごみ袋の容量及び種類

1 第2回審議会における委員意見（一部抜粋）

1 種類 で良い (5名)	<ul style="list-style-type: none"> ・一種類の方が、経費がかからないと思う ・一斉清掃時にごみが多かった場合の想定も必要なため ・製造コストを説明の上、30ℓで対応可能なら現行のままでよい ・小さいサイズの需要はあると思うが、30ℓだけでも困らない ・30ℓで良いと思う。小さいサイズの要望があるなら20ℓにしてはどうか
2 種類 が良い (5名)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どももごみ拾いに参加するので、小さいサイズがあるとうれしい ・袋がいっぱいになるまでごみを拾えないので、もったいない ・プラスチック製品の減量化の一環として小さい袋の導入を検討すべき
その他 (3名)	<ul style="list-style-type: none"> ・30ℓは大きめ、10ℓは小さめかと思う。二種類作るか20ℓにしてはどうか ・各自がサミット袋にごみを拾い、集積所で集約してはどうか ・袋に「ごみを集約し、ごみ袋も削減願います」と印刷

2 ボランティア清掃用ごみ袋の製造単価及びCO₂排出量の比較

	製造単価 (1ℓ当り)	袋 30ℓ分を焼却 した際の CO ₂ 排出量	年間使用量(30ℓ袋 10万枚分) を焼却した際の CO ₂ 排出量
30ℓ袋 (約 21g)	0.381 円/ℓ	58 g	ガソリン使用量 2,507ℓに相当
10ℓ袋 (約 11g)	0.835 円/ℓ	91 g (10ℓ袋 3枚分)	ガソリン使用量 3,940ℓに相当
比較	2.2 倍 ↑	1.57 倍 ↑	1,433 ℓ ↑

※CO₂排出量は「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧（環境省）」に基づき試算

※製造単価は参考見積に基づくため、実際の製造費用とは異なる場合があります